

実はトンでもなく怖いSIV

生産性を脅かすその肺炎

豚インフルエンザ

SIVが原因かも!?

なぜか「餌食べない」「体重増えない」ことがありますか

このような状態に心当たりはありませんか？

育成・肥育期の発育状況

バラつき、ヒネ豚が気になる。よく見られる

育成～肥育期の呼吸器症状

咳・くしゃみが日常的に聞こえる

呼吸促拍、腹式呼吸を示す豚が散発・日常的

育成～肥育期の呼吸器症状(肺炎)に対するワクチン(例:Appワクチンなど)

ワクチンを使用しているが、期待ほど効果が得られていない
(改善している実感があまりない)

呼吸器症状に対する
対策・治療

治療が日常的(決まった日齢・ステージで投薬)

注射剤を一斉に投与する場合がある

発症豚への個体治療(注射)では追いつかないので、添加剤
(飼料・飲水)をよく実施

治療後の回復状況

投薬しているが、期待ほど治療効果が得られていない
(投薬によって治療効果が出ている実感があまりない)

回復するまで治療が長引く豚がいる

1つでも✓が付いたらSIVで生産性にダメージを受けている可能性アリ！ 詳しくは裏面で

実はトンでもなく怖いSIV

SIV(豚インフルエンザ) + マイコプラズマ

混合感染すると生産性に著しい影響も

見落としがちなSIV対策。もしマイコプラズマ(Mhp)と混合感染すると飼料摂取量や増体量が低下し、生産性が著しく低下します。
「SIVは大したことない」「一過性だから」とやり過ごさずに、その怖さを考えていきましょう。



1

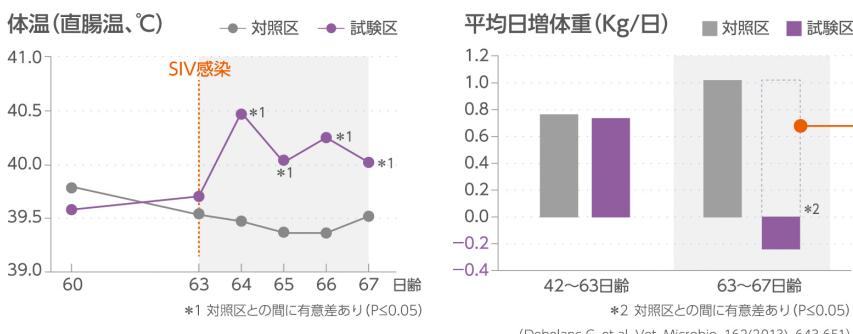
増体量ダウンによる生産性低下

SIVおよびMhp混合感染時の平均日増体量への影響

【試験設定】 6週齢のSPF豚 (Mhp・SIVフリー) を供試。

対照区(8頭)：Mhp・SIVのいずれも含まない液体培地を試験0, 1, 21日に経気道投与

試験区(9頭)：Mhpを含んだ液体培地を試験0, 1日に、SIVを含んだ液体培地を試験21日に経気道投与(強制人工感染)



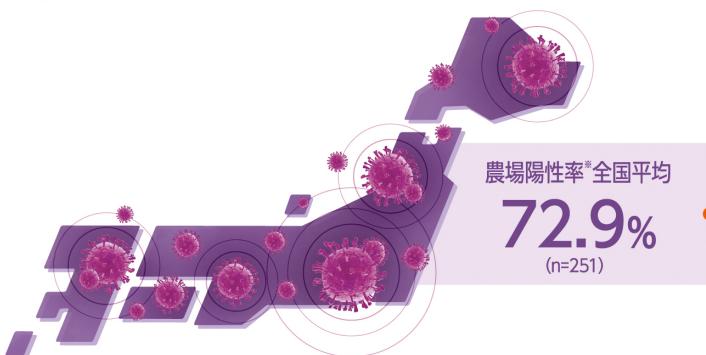
増体重が
大幅にダウン



2

SIVはもう身近に存在しています

国内におけるSIV浸潤状況



SIVが国内に
浸潤していることが
わかりました

ワクチン投与によるSIV感染予防で
生産性の改善が期待できます

フルショア[®]ER は日本で浸潤している3種のSIVを予防できるワクチンです



* ゾエティス・ジャパン株式会社調べ。弊社が提供する検査サービスの結果より農場陽性率を調査。【調査期間】2018年12月～2019年12月
【陽性判定基準】病理性検定指針(農林水産省消費・安全局監修)の診断基準を参考にし、後述の基準を満たすものを陽性農場とした。(種豚、候補豚は除く)・90日前以降(移行抗体消失後と解釈)にELISA値で陽性を示した肉豚が1頭以上認められた場合。

FOR ANIMALS. FOR HEALTH. FOR YOU.

ゾエティス・ジャパン株式会社
〒151-0053 東京都渋谷区代々木 3-22-7